

**防災の日**



9月1日は防災の日。起源は関東大震災にまでさかのぼり、教訓として制定されました。防災の日を前に、病棟では夜間発生を想定した火災訓練が行われました。

また、今月は地震総合訓練も行われます。防災意識を高め、実災害に備えましょう。

【理念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」  
【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり  
社会福祉法人 聖隷福祉事業団  
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 **聖隷三方原病院**  
SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隷三方原病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

**おしらせ**



**注意情報・予知情報発表時の当院の対応について**

当院は災害拠点病院の指定を受けており、地域における重要な役割を担うために体制を整備しています。当院では気象庁が発表する地震に関連する情報に基づいて、以下の対応をいたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

【注意情報発表時】

〈外来〉 外来診療・手術・検査など通常通り継続いたしますが、早めのご帰宅をお勧めいたします。特に公共交通機関をご利用の方は、バスが運行しているうちのご帰宅をお勧めいたします。注意情報の段階では、公共交通機関は平常通り運行しております。

〈入院〉 患者さんで帰宅可能な方は、ご帰宅の準備をしていただきます。

【予知情報発表時・警戒宣言発令時】

〈外来〉 外来診療・手術・検査などすべて中止いたします。外来患者さんは早急にご帰宅いただきます。

〈入院〉 患者さんで帰宅可能な方は、今後予想される傷病者受入のためのベッドを空ける必要がありますのでご帰宅いただきます。病院からの送迎はありませんので、ご理解ください。

ご理解とご協力をお願いいたします。

**ボランティア募集**

当院でのボランティア活動に関心をお持ちの方は、「ボランティア説明会」にぜひご参加ください。

日時：9月4日(木) 14:00～15:30

場所：聖隷三方原病院 ホスピス2階 研修室

お申込みは9月3日(水)までに下記担当者までお願いします。

お申込み・お問い合わせ：聖隷三方原病院ボランティア担当 石津

TEL：053-436-1251(代表) 内線：6552

「みどりの通信」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

皆様から寄せいただいたご意見・ご感想を今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

e-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp FAX：053-438-2971 みどりの通信編集部

## 地震総合訓練を行います

9月25日(木) 17:30～18:30に地震総合訓練を行います。地震発生時の広域災害に備えて、的確な初期活動や傷病者の受け入れの訓練などを、病院全体で実施します。院内放送や患者搬送訓練などでご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 2014年度 フェスタおおぞら

日時：9月21日(日)13:00～15:00

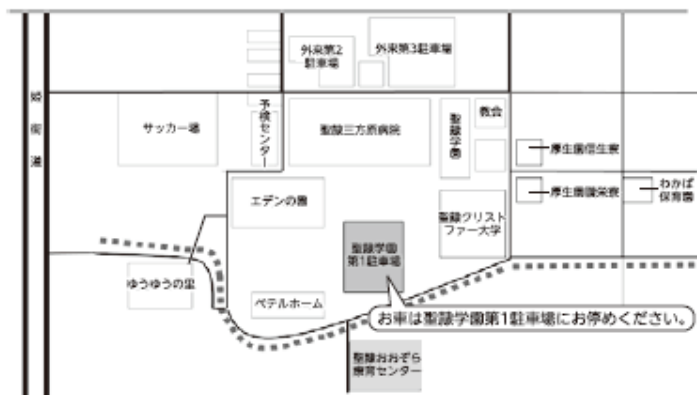
場所：聖隷おおぞら療育センター

本館前駐車場および施設内ホール 他

内容：クラシックギター演奏、ジャグリング

近隣福祉施設によるフリーマーケット

模擬店



## 栄養課通信 9月

## 季節の食材～9月～『茄子』

茄子は種類も豊富で、四季を通じて流通していて旬は7月～9月です。煮ても焼いてもおいしくいただける万能野菜で、油を使って調理すると色鮮やかに仕上がります。

選ぶ時のポイントは、へたの新しさと色つやの美しさです。

茄子の紫色の皮に含まれるアントシアニンという色素は動脈硬化や高血圧を予防する効果があります。

### 簡単！旬のレシピ

今回は当院で提供している  
「夏野菜揚げ出し」  
をご紹介します

《栄養価 1人分》

エネルギー	125 kcal
脂質	10.2 g
たんぱく質	1.1 g
炭水化物	6.7 g
食塩	0.6 g

4人分

なす ……………240g(3～4本)  
オクラ……………4本  
本みりん ……………16g  
醤油 ……………16g  
だし汁 ……………120cc



### 作り方

- ①なすを一口大の乱切りにする。
- ②オクラは、さっと茹でて冷水に落とす。
- ③①を素揚げする。
- ④調味料を全て混ぜたものに③をつけこむ。
- ⑤きれいに盛り付け、オクラをそえる。

### <調理のポイント>

オクラは板ずりすることや茹でた後冷水に落とすことで色止めてきます。カラフルなピーマンやかぼちゃを揚げだしても彩りがいいでしょう。お好みで大根おろしや生姜を添えるのもいいでしょう。

調理師 竹内麻里加

# がんサポートセンター・緩和支持治療科のご

「緩和支持治療科」とは、あまり聞きなれない言葉だと思えます。『緩和治療』とは、病気に直面した患者さんとそのご家族の quality of life (生活の質) を最大限に向上させるために、痛みだけでなくそのほかの体のつらさや精神的なつらさを和らげる治療のことをいいます。当院は、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けて、各科で協力して専門的ながん治療を行っています。緩和支持治療科は、がんと診断された患者さんとそのご家族が安心して治療を受け、病気に伴って生じるさまざまなつらさを最少にできるように、2003年に設置されました。

患者さん・ご家族が「つらい」「心配」と感じているとき、緩和支持治療科ではがんサポートセンターとして、以下の専門の部署や専門家チームと共同してつらさを和らげる方法を考えます。患者さん・ご家族一人一人に応じた必要なサポートを届けられるように、チームを組んで診療にあたっています。

## がん相談支援センター・がん看護外来

がんの治療を受けるうえでの不安や悩み、日常生活や仕事のこと、経済的な問題、療養の場所など、専門の知識をもった看護師やソーシャルワ-

カーと一緒に考え、アドバイスします。

## 緩和ケアチーム

がんは、こころや体につらい症状をもたらすことがあります。緩和ケアチームでは、医師・看護師・薬剤師・臨床心理士などいろいろな職種が共同して、入院・外来を通して、患者さんのつらい症状を和らげる方法を考えます。痛み・吐き気・息苦しさといった体の症状、眠れない・不安などの精神的なつらさに対応します。お薬を使って和らげる方法、上手なお薬の使い方を工夫したり、お薬以外でつらさを和らげる方法を考えます。

## 化学療法のサポートチーム

化学療法を受けている方の中には、吐き気やしびれ、皮膚の症状など、副作用に悩まされる方もいらっしゃいます。化学療法サポートチームでは、主治医とともに副作用の対策を考え、できるだけ副作用の生じにくい工夫、日常生活での注意点などをアドバイスします。

## 子どものサポートチーム

「子どもに病気のことをどう伝えたら良いのか」「治療に専念したいが子どものことが心配」「子どもは病気のことをどう思っているのだろうか」など、親ががんになったときの子どもへの対応に悩むことがあるかもしれ

# 案内

## がんサポートセンター 森田 達也

ません。子どものサポートチームでは、子どもさんへどう接したら良いか、病気のことをどう話したら良いかを一緒に考えます。

どなたでもサポートを受けることができます。つらい症状、不安なお気持ちや心配ごとがありましたら、まず主治医・看護師へお話しください。主治医・看護師からの依頼を受け、すみやかに各チームと連携をとって、患者さん、ご家族が安心して療養できるように努めます。

## がんサポートセンター

緩和ケアチーム



がん相談支援センター



子どものサポートチーム



がん看護外来



化学療法サポートチーム



緩和和支持治療科外来



## がん患者さんのための おしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日時：9月11日（木）13：30～14：30

場所：聖隷三方原病院 管理棟2階 第7会議室

対象：がん患者さんとご家族

お問い合わせ：よろず相談地域支援室  
がん相談支援センター

TEL：053-439-9047



## 絵画展 — 聖隷厚生園讀栄寮 プチ宝石箱展 —

期間：9月1日（月）～9月30日（火）

場所：患者さんのための「医学情報プラザ」  
（土・日を除く、10：00～16：00）

どなたでもご覧いただけます。ぜひお立ち寄りください。

## 地域がん診療連携拠点病院市民公開講座のお知らせ

日時：9月20日（土）14:00～

場所：プレスタワー 17階

講師：聖隷三方原病院 消化器内科部長 西田淳  
ピロリ菌胃がんのお話を中心に、治療に携わる現場からの伝えたいことを当院医師が分かりやすくお話しさせていただきます。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

お問い合わせ：地域医療連携室

TEL：053-439-0001 FAX：053-439-0002

## 編集後記

9月1日に防災の日を迎え、より一層防災意識の高まる1ヶ月になります。皆様のご家庭は、非常袋や避難経路の確認はされていますか？非常食の消費期限は大丈夫でしょうか？今一度確認をし、実災害に備えましょう。

発行責任者：総合病院 聖隷三方原病院 病院長 荻野 和功  
〒433-8558 浜松市北区三方原町 3453  
TEL 053-436-1251（代） / FAX 053-438-2971  
<http://www.seirei.or.jp/mikatahara/>